



ロータリーは機会の扉を開く

9月は基本的教育と識字率向上月間

2020 - 2021 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 ホルガー・クナーク 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433

ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メルンRC (ドイツ)

ロータリーの友月間(日本独自の月間)

# 飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 石黒秀司  
 ガバナー補佐 佐久間弘行  
 会長 菅野浩司  
 幹事 斎藤孝裕

1. 例会最重要主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ロータリー賞への挑戦
7. ロータリー財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力

## 第2530地区ガバナー公式訪問

令和2年9月10日(木)

【**県北第二分区ガバナー補佐 佐久間弘行 様**】 先日のガバナー補佐訪問におきましては、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。本日は、石黒ガバナーをお迎えしての会長・幹事会ご苦勞様でした。これからのクラブ協議会が有意義なものになるように願っております。宜しくお願いたします。

【**菅野浩司 会長**】 石黒ガバナー、地区資金委員長福島様、ガバナー補佐佐久間様、分区幹事紺野様、本日はありがとうございます。これからクラブ協議会ということで、飯坂ロータリークラブの各委員長より今年度の運営方針、事業活動について発表をいただきます。お時間を取りまして、ガバナーよりご指導、ご助言、ご講評をいただきます。この前に会長・幹事会を行いました。非常に厳しいガバナーです。皆さん、覚悟して臨んでいただきたいと思います。ありがとうございます。

【**第2530地区ガバナー 石黒秀司 様**】 各クラブを訪問させていただく楽しみというのは色々ございまして、飯坂ロータリークラブさんも長い歴史の中で、多くの方が携わり、飯坂ロータリークラブらしさというか、空気というのが醸成されております。今日は、飯坂ロータリークラブさんの良いところをどんどん見つけて、訪問する残り半分あるクラブで、その良いところを発信していきたいと思っております。そのクラブがよくなり、地区が良くなって、賑やかな2530地区となっていくという方向性を目指してまいりたいと思っております。宜しくお願申し上げます。



### クラブ協議会

**S・A・A 服部裕一 正S・A・A** S・A・Aの任務を認識し、会長、幹事、各委員長とも連絡を取り合い、秩序正しく、なおかつ楽しい例会になるよう心配りをしたいと思います。その目標を達成するために、7つの項目を推進いたします。

**クラブ奉仕第一委員会 村上裕司 委員長** 職業分類・会員増強・選考委員会では、会員増強を最優先課題として取り組み、ロータリー情報委員会では様々な情報提供を行い、会員のレベルアップを図りながら、魅力あるクラブ作りに努めます。

**職業分類・会員増強・選考小委員会 村上裕司 委員長** クラブ運営、そして発展には会員増強が欠かせません。このために3つの行動計画を立て実践してまいります。また、会員増目標10%4名増を達成するために行動いたします。

**ロータリー情報小委員会 吾妻一夫 小委員長** 会員各位のロータリーに関する知識と理解をより一層深めることを目的とし、その目的を達成するために4つの活動を行います。初の情報委員会ですので、張り切ってやりたいと思っております。

**クラブ奉仕第二委員会 石川邦俊 委員長** 各小委員会の活発な活動を図り、より良い計画と事業ができるよう配慮し、それぞれの小委員長と連携を図り、楽しく有意義なロータリー活動になるよう努力いたします。

**親睦活動小委員会 吾妻一夫 小委員長** 充実した活動を通じて、ロータリー会員同士、また、会員家族の絆がさらに深まることのできるよう4つの活動方針を立て、努力してまいります。行事予定では、夜間例会、晩酌例会や家族同伴の例会、親睦ゴルフ大会、新春初釜、親睦旅行、お花見例会、移動例会などを計画しております。

**プログラム出席小委員会 生田目正志 小委員長** 会長の基本方針に基づき、例会プログラムを企画します。また、各委員会とも連携を図り、活動の発表の場を設け、会員間の親睦を図るプログラムを取り入れ魅力ある例会にいたします。

**公共イメージIT小委員会 永井秀典 小委員長** 年次活動方針として、クラブ週報を継続して発行します。会員や家族、地域住民らに活動の意義を広く伝え、理解と支援を促進します。また、会員の意識高揚、成長へ公共イメージの向上を図ります。活動計画として、会員に認知度の向上の意義を伝え、新聞などのメディアを積極的に活用してまいります。

**スマイリングボックス小委員会 中野哲郎 小委員長** スマイリングボックスは、ロータリー特有の募金制度であり「親睦から奉仕へ」のロータリーの本質を具現化するための重要な制度です。本クラブの奉仕に対する原資の一部といたします。

**職業奉仕委員会 西山友幸 委員長** 職業奉仕の精神は、職業を通して世のため人のために尽くすことです。さらに高い職業倫理をもって自らの職業を実践し、自らを成長させながら奉仕を続けることです。委員会として、ロータリーの理念に基づいて活動し、職業奉仕の理解を深めてまいります。

**社会奉仕委員会 渡辺達也 委員長** 地域に根差した社会奉仕活動を行うため、地域社会のニーズや問題点を分析し、より良い事業の立案や解決策の提案等を実践していきたいと考えます。飯坂小学校太鼓クラブへの支援など行ってまいります。

**国際奉仕委員会 紺野容樹 委員長** 他国の人々との国際理解・親善・平和を推進する活動を目的とし、ロータリーの精神に

則り、国際奉仕、国際交流を実践してまいります。国際奉仕の活動により理解を深めるため、国際交流フェスティバルなどの4つの活動を計画し実践してまいります。

**青少年委員会 千葉政行委員** 次世代の担い手となる地域青少年の健全な成長を心から願い、地域社会への理解、国際的な感覚を育む事業を行います。LYRAへの参加募集やインターアクト設立のための事前検討および準備、また、薬物問題については佐藤喜市郎会員を通じて募金活動で貢献してまいります。

**ロータリー財団委員会 堀切孝敏委員長** 委員会として、財団のプログラムを会員に十分に伝え、理解を得て、クラブレベルで協力していきたいと思っております。最近では若い会員が増えましたので、今年も一人150ドル、ポール・ハリス・フェロー1名、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1名、ポール・ハリス・ソサエティー2名の加入をお願いします。

**米山記念奨学会委員会 安斎忠作委員長** 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは、日本に在籍している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源とし、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。特別寄付一人5千円、特別寄付一人1万円をお願いいたします。今年度も中国人留学生を支援しご協力させていただいております。

**戦略計画委員会 村上裕司委員長** 国際ロータリーの戦略計画および地区目標に基づき、クラブ活性化のために当委員会でも効果的に活動してまいります。会員基盤の維持と強化、RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践、公共イメージの向上、ロータリー賞への挑戦を行います。



**ご講評** 大変お疲れ様でございます。1週間前から今日の準備をしていただき、心より厚く御礼申し上げます。

**S・A・A**ですが、会長幹事と同列、もしくはそれ以上ということで、この飯坂クラブさんの空気をいかに維持していくか、大切な仕事になってきます。福島南クラブさんでは、BGMに「エール」にちなんで古関裕而さんの曲を流しているそうです。菅野会長プレゼンツの楽しいBGMを流していただきたいと思っております。**増強**ですが、会員数が少ない厳しい時代を乗り越えられて、その時から計画的に戦略的に計画を立てられ、実際に進められているところが素晴らしいと思っております。基本的には「増強」ではなくて「強増」だと思います。皆さんで知恵を出し合いながら、戦略的に行動されるノウハウはお持ちですので、積極的な起用をご期待しております。**ロータリー情報**ですが「ザ・ロータリアン」誌は英語で書かれており、世界で50万部出ております。今は自動翻訳もありますし、こういうものを紹介するものもあると思います。また、これを中学校などに寄贈すれば、よい青少年奉仕になると思います。**親睦委員会**ですが、感動したのが新春初釜です。創立時からとお聞きして、まさに飯坂ロータリークラブの空気だと思います。ロータリーの理解につながるような、夫婦共々のロータリーというのもよいと思います。晩酌例会のネーミングはいいですね。中秋の名月には観月例会という名前の例会などもあります。**プログラム委員会**では、会員卓話は非常に大切だと考えております。自己の職業に関してどのように社会に貢献しているのか、どのように事業の発展継続に取り組んでいるのかという内容をお願いしながら、会員の知識や教養を高めて、ロータリーの目的に合致するテーマであれば非常によいのかなと思います。**出席委員会**ですが、出席率70%以上は高いほうです。会員数にもよりますが、増えていくと当然休む方も多いです。出席しなくてはだめなのだと思っただけの状況だといいた方がいいのですが、忙しい人ほど出席しなくてはならないと思います。**公共イメージ委員会**について、週報も含まれますが、先ほど見せていただきました。素晴らしい週報を作られていると思います。これは穴が開いてしまうクラブがたくさんあります。まずはしっかり週報はお作りいただきたいと思っております。新聞の取材を受けたあと、クラブは取材依頼をして掲載されたら、お礼の電話一本入れるということを決まりとしていただきたいと思っております。公共イメージのセミナーで、新しいロゴとマークの認知度の調査の結果16%しか認識されておりました。このロゴとマークはしっかり告知しなくてはなりません。**スマイリングボックス**ですが、金額の多さにびっくりしました。メッセージを広告しながら、和やかムードを演出していくという部分もありますし、有効に奉仕事業にお使いいただきたいと思っております。**職業奉仕**ですが、ロータリーの目的の第二項「職業上の高い倫理基準を保つこと、役立つ仕事は全て価値あるものと認識すること、社会に奉仕する機会としてロータリー活動をすること」この職業奉仕の理念に限ると思っております。**社会奉仕**は、理念や考え方を学ぶためのサンプルだと私は思っておりまして、基本的にはロータリアン個人の話にはなってきますが、学んだ意義ややり方など、個人個人が各々の生活の分野でいかに発揮していくかということだと思います。インターアクトについては、公立高校は先生が変わってしまうと申し送りがうまくいかないケースが間々あります。インターアクトを作っていくなら、地区の青少年奉仕委員会に意見を聞いて、やり方を真剣に考えていかれた方がいいのかなと思います。**社会奉仕**は、意義や仕方をしっかり学んでいきたいと思いますところですので。**国際奉仕**では、100円募金が気になりました。八幡神社の例大祭に行われる国際交流フェスに使われるということですね。多文化を理解することが非常に有効だと思います。**青少年**について、ライラですが去年は残念ながら中止になってしまいました。地区には64クラブありますので、複数人数出しているクラブもありましたが、これは是非出していきたいと思っております。クラブの例会で経験談などを話していただくのも一つですし、クラブメンバーの事業所から一人を二人とか、そういう形にもつながっていきます。**ロータリー財団**ですが、是非補助金を使っただけでいただきたいと思っております。最近では流れが速く来年の





事業を来年3月まで企画立案をしなければなりません。今から会長と会長エレクト、幹事、副幹事で話をしていかななくてはなりません。早め早めの行動をお願いいたします。ロータリーカードですが、お作りいただいて、お使いいただくことによって、0.3%の金額がポリオ根絶に向けて使われます。ご理解をいただいて、お使いいただく、これしかありません。クリアファイルですが、ご協力をいただいてありがとうございます。心から御礼申し上げます。米山ですが、世話クラブがないと学生の面倒はみられません。継続的にお世話をいただいてありがとうございます。その上、福島大学の学生を中心に、国際交流フェスでは文化交流をさせていただいており、心より厚く御礼申し上げます。誰と接点があっても学びにつながるということは多いと思います。学びの姿勢を持ちながら、彼らの姿勢からも自分たちの行動を律していくなど、学びも大切になってきますし、彼らは一生懸命です。また、そういう子たちを選んでおります。経済困窮支援型の奨学金ではなくて、人材育成型の奨学金だとご理解いただきたいと思います。戦略計画については、計画を立てたことを、タイムスケジュールも見ながら、どのように具現化していくか、そこが大きな問題になっております。最後にロータリー賞への挑戦ですが、これはクラブ活性化の基にもなってきますので、宜しくお願いいたします。

通算

## 第8回 [ 3016 ] 例会報告 令和2年(2020) 9月10日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	31名
欠席会員	8名
出席率	79.49%

### 言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆国歌 ◆ロータリーソング [奉仕の理想]

◆四つのテスト 西山友幸 職業奉仕委員長

### ◆お客様紹介

- ◆国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司 様 郡山RC 【職業分類：衣料販売】
- ◆国際ロータリー第2530地区資金委員長 福島 佳之 様 郡山RC 【職業分類：税理士】
- ◆県北第二分区ガバナー補佐 佐久間弘行 様 川俣RC 【職業分類：葬祭業】
- ◆県北第二分区幹事 紺野希予司 様 川俣RC 【職業分類：電気工事】
- ◆2020(令和2年度)学年ロータリー米山記念奨学生 李 岳 さん



石黒ガバナーより  
李岳さんへ奨学金の贈呈

🎂 今週の誕生日 🎵🎵🎵 9月13日 佐藤 真也 会員 🎵🎵🎵

.....lunch time.....

### ◆会長の時間



本日はガバナー公式訪問ということで、地区より第2530地区2020-2021年度ガバナーの石黒様、地区資金委員長の福島様、県北第二分区ガバナー補佐の佐久間様、分区幹事の紺野様をお迎えしての例会となります。飯坂ロータリークラブを代表して歓迎させていただきます。先ほどの会長・幹事会、クラブ協議会においては、石黒ガバナー様よりの確なご指導・ご助言をいただきました。今年度、当クラブは10%の会員増を目標に掲げましたが「来月が6月(年度末)と思ってすぐ行動しましょう！」と激励されました。また、例会の会員卓話中心のプログラムについてはお褒めいただき「会長の時間」も重要視してくださいとアドバイスをいただきました。今年度は例会最重点主義で考えておりますが、毎週決まった時間に集まって、1時間という短時間で最高の能率を上げていく。これがロータリークラブの特徴でもあり、素晴らしい部分だと思います。最後に著名人のロータリーについての評価をご紹介します、会長の時間とさせていただきます。岩手県出身の政治家、第30代内閣総理大臣で東京ロータリークラブの名譽会員でもありました齋藤實元首相は「ロータリーの精神が立派なのはいうまでもないが、僕がロータリーを好きなのは、例会での進行と規律です。わずか一時間の短時間であれだけの能率を上げる会には他にはあるまい。」と語っておられます。続きまして、理事会のご報告ですが、議題は10月の例会プログラムについてと週報についてです。例会プログラムについてはすでに皆さんにご連絡させていただいております。また、週報については、引き続き坂本さんに作成をお願いすることを理事会で決定いたしましたので、ご報告させていただきます。

### ◆幹事報告

#### A. 来信

① 福島ロータリークラブより

「福島RC創立70周年記念事業ジュディ・オング氏講演会の案内」とき 10月18日(日) 15:00~  
ところ ウェディングエルティール

#### B. メーキャップ報告

9/5

地区米山奨学生との交流会  
地区社会・国際奉仕委員会セミナー

佐藤喜市郎 会員  
渡辺達也、紺野容樹 各会員

### ◆地区国際・社会奉仕委員会セミナー報告 渡辺達也 社会奉仕委員長

9月5日に社会奉仕委員会、国際奉仕委員会のセミナーを紺野容樹国際奉仕委員長と受講してきました。セミナーの内容ですが、福島民友新聞社執行役員編集局長小野広司様を講師としてお迎えして、東日本大震災より10年の演題でお話をお聞きしました。南相馬市の最前線で自分の命と引き換えに地元の人間の命を救った津波取材で来ていた24歳の若い新聞記者の方が亡くなられたそうです。それを門出隆将さんという方が「記書たちは海へ向かった 津波と放射能と福島民友新聞」という本を出しました。東日本大震災から10年、地域を守ること、人間の本来の姿などお話を聞きながら、地域社会へ奉仕活動に向かう心を育てる素晴らしいセミナーでした。以上、ご報告をおわります。

### ◆地区米山記念奨学生との交流会の報告 佐藤喜市郎 カウンセラー

米山奨学生の安達太良連邦登山が9月5日に行われました。例年ですと、この時期は米山記念館を訪問しますが、今年度はコロナの問題で安達太良登山になりました。ケーブルカーに乗ってから登山となり、気持ちよい汗をかき、楽しみながら山を登りました。李岳君はキャンプが好きだそうで携帯コンロなど持参しておりました。下山の時、私の持病の腱鞘炎が再発して足を引きずりながらの下山となり、李岳君が最後まで私を労わってくれました。お陰様で奨学生との絆が深まった登山となりました。

◆スマイリングBOX 秋葉一彦 委員 【合計118s】

国際RC第2530地区ガバナー 石黒秀司 様	10,000円	飯坂ロータリークラブ公式訪問を記念して
県北第二分区より	7,000円	飯坂ロータリークラブ公式訪問を記念して
県北第二分区ガバナー補佐 佐久間弘行様	5,000円	よろしくお祈りします。
川俣ロータリークラブ 紺野希予司様	1,000円	

  

菅野浩司 会員 10s	ガバナー公式訪問を祝して！石黒ガバナー、福島地区委員長、佐久間ガバナー補佐、紺野分区幹事をお迎えして	
鈴木牧子 会員 5s	石黒ガバナーはじめの皆様飯坂にご来訪いただきありがとうございます。	
佐藤喜市郎 会員 5s	石黒ガバナー、佐久間ガバナー補佐をお迎えして	佐藤 真也 会員 5s
島隆章 会員 5s	石黒ガバナー、佐久間ガバナー補佐をお迎えして	三瓶 貢 会員 5s
吾妻一夫 会員 5s	石黒ガバナーをお迎えして	堀切 孝敏 会員 3s
村上裕司 会員 3s	石黒ガバナーをおむかえして	安斎 忠作 会員 3s
中野哲郎 会員 3s	石黒ガバナー、佐久間ガバナー補佐をお迎えして	小笠原高史 会員 3s
中島定宏 会員 3s	石黒ガバナーをお迎えして	伊堂 里佳 会員 3s
紺野容樹 会員 3s	石黒ガバナーをおむかえして	生田目正志 会員 3s
西山友幸 会員 3s	2530地区ガバナー石黒秀司様をお迎えして	渡辺 達也 会員 3s
高田薫 会員 3s	石黒ガバナーをお迎えして	油井 明則 会員 3s
秋葉一彦 会員 3s	ガバナー公式訪問を祝して！	
千葉政行 会員 3s	石黒ガバナー、福島地区委員長、佐久間ガバナー補佐、紺野分区幹事をお迎えして	
石川邦俊 会員 3s	石黒ガバナーをお迎えして 今年一年宜しくお祈り致します。	
西條博之 会員 3s	ガバナー公式訪問を祝して クラブ協議会欠席おわび	
松崎義将 会員 2s	石黒ガバナーをお迎えして	阿部 弥生 会員 1s
渡邊哲也 会員 1s	石黒ガバナーをお迎えして ありがとうございます。	佐久間補佐、紺野幹事ご苦労様です。

◆ゲストスピーチ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司 様



ホルガー・クナーク会長よりロータリーのテーマ「ROTARY OPENS OPPORTUNITIES」が発表になりました。それはこんな問いかけから始まりました。「有機的かつ持続可能な形でいかにロータリーを成長させることができるのか」「いかに限界を維持しクラブにふさわしい新会員を募れるか」「立ちほだかる課題に立ち向かうためにいかに組織を強くすることができるのか」こんな問いかけです。立ちほだかる課題とはなんでしょう。これは各クラブによって異なります。よって、年一回は戦略計画委員会を開いていただいて、多くのサディッションをいただきながら、5年後はどんなクラブになっているのか、イメージしていく。そこで、ホルガーさんはこんな話をされました。「太陽が出ているうちに屋根を修理しなくてははいけない」と、名言だと思います。問題が顕在化する前に、サインが出た時にもう解決してしまおうということなのです。

「四つのテスト」があります。客観的に物事を判断するには、非常にいい尺度になります。しかし、ホルガーさんはクラブが抱えている種々の課題を解決するのにこれで大丈夫なの、これだけでオッケイなのかという問いかけをされました。そこで多くの問題を解決するために、この「四つのテスト」の他に変わらなければいけないところもあるのではないか。変わる時は革命的に変わっていきましようという話もされました。今年度のテーマは「ロータリーは機会の扉をひらく」です。私なりにまとめるところとなります。「ロータリアンがリーダーシップを強化する機会をつくり、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする人々の生活を向上する活動を行うようロータリアンを喚起し、会員自身や他の人々の人生もより豊かにするための道を開く」という内容だと思っております。これを単語・文章に変えていきます。「ロータリアンの成長」「奉仕の実践」「ロータリアンの喚起」「ロータリアンの人生を豊かに、そして、人々に人生を豊かに」それをまた、聞いた言葉に変えていきます。「私たちは世界を変える行動人である。そして、私たちが動いて社会の発展をもたらす、世界の平和をもたらす」それでロータリーが大きくなっていくというわけです。会員一人ひとりの行動が大切なわけで、それを一体どこに求めましょうかということ。「規則的例会の出席の原則」とは、自己研鑽の意識をもって、例会はじめあらゆる会合に出席をしなければならない。そこが大切な部分で、毎週毎週定期的な例会に参加することによって自分磨きが進められていきます。「発想の交換機能」ですが、昔は一業種一名だったのである業界ではやっとなと顕在化した問題に対して、ある業界ではもうとっくの昔にそういう問題は出てきていて解決済みだということもあったようで、まさに経営上のアイデアの交換をしていく、さらに諸々の奉仕の発想の交換などもしていく。倫理経営を提唱しながら、共存共栄の道を模索していくというような素晴らしい1時間が私たちには与えられます。そこで、例会を大切にしましょうと言っておられます。会員を増やすのではなく、一番は入っている我々がまず入っている喜びを感じながら、発想の交換をしながら、一人ひとりの向上を図ろうではないですか。



ロータリアンでもあるカーネル・サンダーズの話を知りたいと思います。カーネル・サンダーズはハーランド・サンダーズというのが本名です。『ケンタッキー・カーネル』という称号がありまして、ケンタッキー州で国に対して顕著な貢献をされた方に対して『ケンタッキー・カーネル』という称号を与えられているそうです。カーネル・サンダーズは5歳の時にお父さんが亡くなりました。10歳の時に少しでも家計を助けようと、農場に住み込みで働きます。10歳の少年ですから、仕事が遅いということできびになってしまいます。それでお母さんに怒られてしまいます。これから一家の主として仕事をするという意識を持たなくてはならない。そこで、自分の二つのルールを定めます。「できることは全てやれ」「やるなら最善を尽くせ」という二つのルールを決めます。仕事を転々としませんが、二つのルールを自分に課して一生懸命仕事をします。そこで営業成績を上げてロータリアンになりました。皆さんご承知のとおり「もっともよく奉仕する者。もっとも多く報いられる」と聞いたことがあると思います。また「超我の奉仕」と聞いたことはありませんか。二つのルールの他にこの二つを足して仕事をするようになりました。その後、大成功をします。カーネル・サンダーズはロータリークラブで別の重要な考え方に会います。それが「四つのテスト」だそうです。日本のロータリアンでもこの「四つのテスト」を経営理念に使った人がいました。株式会社ハードオフコーポレーションをご存じですか。ここの会長も「四つのテスト」を使っておられます。ロータリークラブは人材の宝庫です。自ら心を開いて、多くの方々と接点を持ち、自己成長をもたらして、そして、飯坂ロータリークラブさんが光り輝くものになって、ご自分の言葉でその魅力を発信していただければ幸いです。

最後に「Participate and Enjoy ROTARY (サーヴィスと良きロータリーの為に)」というお話だけさせていただきます。「Participate」というのは参加しましょう、出席しましょうということですが「Par」とは役職や役目という意味があります。「Enjoy ROTARY」はロータリークラブを楽しみましょう、その上でロータリークラブをもっともっと好きになって多くの方々に話していただければと思います。皆さん一年間宜しくお祈りいたします。ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長